

令和3年度の防災事業の実績（見込）等について

I 令和3年度の防災事業の実績（見込）について

1 非常用備蓄食糧等の整備 (決算見込：4,358千円)

食糧及び生活必需品備蓄

区分	購入数	3年度末	目標値
災害救助用クラッカー（食）	9,800	32,900	55,510
ハーベスト（食）	—	5,760	
ビスコ（食）	5,100	17,100	26,100
おこげ（食）	1,800	9,000	10,800
おかゆ（食）	2,400	4,640	14,240
粉ミルク（回）	—	960	—
液体ミルク（240ml）（本）※	630	630	—
飲料水（500ml）（本）	2,880	17,280	—
毛布（枚）	—	16,062	—
紙オムツ（大人・小人）（枚）	—	8,200	—
生理用ナプキン（枚）※	8,512	8,512	—

※液体ミルク及び生理用ナプキンは令和3年度から購入。

○目標値の考え方

令和4年1月1日現在 人口 69,294人 目標値の算出基準 人口 69,500人	<p>① 避難者を全人口の30%、熱源使用不能状態が2日間続くと想定。</p> <p>② 必要とされる初期応急食糧数量（2日間のうち最初の1食は発災直後であり考慮せず、2日間で5食とした。）104,250食に帰宅困難者対応分2,400食（800人×3食）を加え合計106,650食を備蓄目標に設定。</p> <p>【飲料水・米・生活必需品については、麒麟麦酒㈱を始め19事業所と協定を締結】</p>
--	---

2 耐震診断・改修費等補助事業

(決算見込：診断567千円、改修2,000千円、住宅除却1,400千円、耐震シェルター300千円、ブロック塀等撤去622千円)

■耐震診断

令和3年度	
件数	決算見込
12件	567千円

実績

年度	件数
平成30年度	17件
令和元年度	14件
令和2年度	22件

■耐震改修

令和3年度	
件数	決算見込
2件	2,000千円

実績

年度	件数
平成30年度	1件
令和元年度	2件
令和2年度	2件

■住宅除却

令和3年度	
件数	決算見込
7件	1,400千円

実績

年度	件数
平成30年度	1件
令和元年度	5件
令和2年度	3件

■防災ベッド…申請なし

実績

年度	件数
平成27年度	1件

■耐震シェルター

令和3年度	
件数	決算見込
1件	300千円

3 空家解体促進費補助事業

■空家解体促進費補助金

令和3年度	
件数	決算見込
11件	2,200千円

実績

年度	件数
令和元年度	6件
令和2年度	8件

4 職員による訓練

新型コロナウイルス感染症の拡大により水防訓練が中止となったことを踏まえて、新規採用職員等25名による土のう作成訓練及び積土のう工法訓練を新たに実施した。

5 地域防災リーダー養成講座（中止）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、養成講座・フォローアップ講座（養成講座の修了者を対象に開催）は中止とした。

6 地域の自主防災訓練実績（令和4年1月21日時点）

地区	実施町内会数	ブロックでの実施	参加者数※
西枇杷島	0町内会	3ブロック	102人
清洲	2町内会	4ブロック	223人
新川	1町内会	4ブロック	185人
春日	0町内会	0ブロック	0人
合計	3町内会	11ブロック	510人

※実績報告書が未提出のブロック等については、参加予定人数を計上。

【主な訓練内容】

避難訓練、初期消火訓練、AEDを使用した救命訓練、三角巾による応急手当訓練、簡易担架を使用した救急訓練、防災資機材の点検、ハザードマップの確認 など

7 自主防災組織強化事業

■自主防災組織補助金

(決算見込 ハード5,292千円、ソフト58千円)

申請数（令和4年1月21日現在） 24件（21ブロック）

【内訳】防災資機材購入事業（ハード事業） 申請数 30件（24ブロック）

自主防災組織活性化事業（ソフト事業） 申請数 1件（1ブロック）
※ハード事業・ソフト事業を両方活用したブロック…1ブロック

■消火器の消火薬剤詰め替え費補助金 (決算見込 622千円)
申請数（令和4年1月21日現在） 18件

8 治水対策事業

■雨水ポンプ場改築事業 (決算見込 477,600千円)
ポンプ場の改築及び更新のための実施設計・工事を行った。

堀江ポンプ場：改築及び更新工事 決算見込 192,600千円
豊田川ポンプ場：改築及び更新工事 決算見込 285,000千円

■雨水ポンプ場整備事業 (決算見込 26,070千円)
西清洲ポンプ場を新規で整備するための埋蔵文化財発掘調査を行った。

■幹線管渠整備事業 (決算見込 153,426千円)

区分	計画延長	令和3年度
土田排水区	□2.4m×1.2mほか L=約484m	整備工事（L=約73m）、付帯工事（側溝移設など）、占用物件移設補償
水場川右岸排水区	□2.7m×2.7mほか L=約300m	占用物件移設補償

■清洲橋架け替え事業【県事業】
橋脚躯体工及び埋蔵文化財発掘調査を行った。

■枇杷島橋架け替え事業【県・名古屋市事業】
仮橋設置に伴う迂回路設置（県）及び仮橋製作架設工（名古屋市）を行った。

9 公共施設等の耐震化事業

■橋梁改良費 (決算見込 27,543千円)
水場川改修事業に伴って実施する白弓橋の架け替え工事で、耐震基準を満たす橋へ3年計画で実施しており、3年目に当たる令和3年度は橋面舗装及び取付工事を実施した（令和3年10月供用開始）。

■橋梁維持費 (決算見込 14,726千円)
北野橋及び上条橋について、耐震補強及び補修工事を行った。
また、新川小橋の耐震補強及び補修工事に係る詳細設計を行った。

10 避難所関連事業

■校舎長寿命化等改修事業 (決算見込 429,616千円)
長寿命化改修工事の実実施設計（令和2年度策定）に基づき、清洲東小学校及び桃栄小学校の改修工事を行った（市内の小中学校全ての長寿命化改修が完了）。

■学校屋内体育施設空調設備設置事業 (決算見込 20,900千円)
近年の災害的猛暑に対し、児童・生徒、災害時においては避難者が快適に過ごせるように、全小・中学校の屋内体育施設に自家発電設備を備えた空調設備を設置するための実施設計を行った。

11 防災センター整備事業

■（仮称）五条川防災センター整備事業 (決算見込 7,150千円)
五条川の右岸側の旧清洲庁舎跡地に指定緊急避難場所、指定避難所及び防災資機材等備蓄施設としての機能を有する防災センターを整備するため、整備に係る基本設計を行った（令和5年度末の竣工予定）。

II 令和4年度の防災事業の方向性について

【ハード事業】

1 治水対策事業

- 雨水ポンプ場改築事業として、堀江ポンプ場及び豊田川ポンプ場の整備を推進する。
- 雨水幹線管渠整備事業として、土田排水区及び水場川右岸排水区の幹線管渠整備を推進する。
- 清洲橋及び枇杷島橋の架け替え事業を推進する。

2 公共施設等の耐震化事業

- 令和3年度に詳細設計を行った新川小橋の耐震補強及び補修工事を実施する。

3 避難所関連事業

- 令和3年度に実施設計を行った全小・中学校の屋内体育施設への自家発電設備を備えた空調設備の設置を実施する。

4 防災センター整備事業

- 令和3年度に基本設計を行った（仮称）五条川防災センターについて、実施設計を行う。

【ソフト事業】

1 自主防災組織強化事業

- 市内各ブロックの自主防災活動の活性化を図るため、令和3年度～令和5年度の3か年のサイクルで自主防災組織への補助を行う（防災資機材購入や手づくりハザードマップの作成などが対象）。

2 水防訓練・総合防災訓練・地域防災リーダー養成講座

- 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施する。

3 耐震診断・耐震改修等事業

- 民間木造住宅の耐震診断、民間木造住宅の耐震改修への補助、民間木造住宅除却への補助により、民間木造住宅の耐震化率の向上を図る。
- 災害時における避難路の確保や減災、安全確保を目的として、民間ブロック塀等の撤去への補助を行う。
- 老朽化による危険な空家等の解消を図るため、倒壊又は建築材等の飛散のおそれのある危険な空家等の解体への補助を行う。

4 備蓄物資の整備

- 106,650食を目標に、引き続き食料の備蓄を実施する。購入にあたっては、より長期保存が可能な品目等の購入を検討する。

5 ハザードマップの作成

- 令和3年6月に愛知県が想定最大規模の高潮浸水想定区域を指定したことなどを受けて、高潮・雨水出水ハザードマップの作成を進める。